

平成17年度 直轄請負工事の事故発生状況

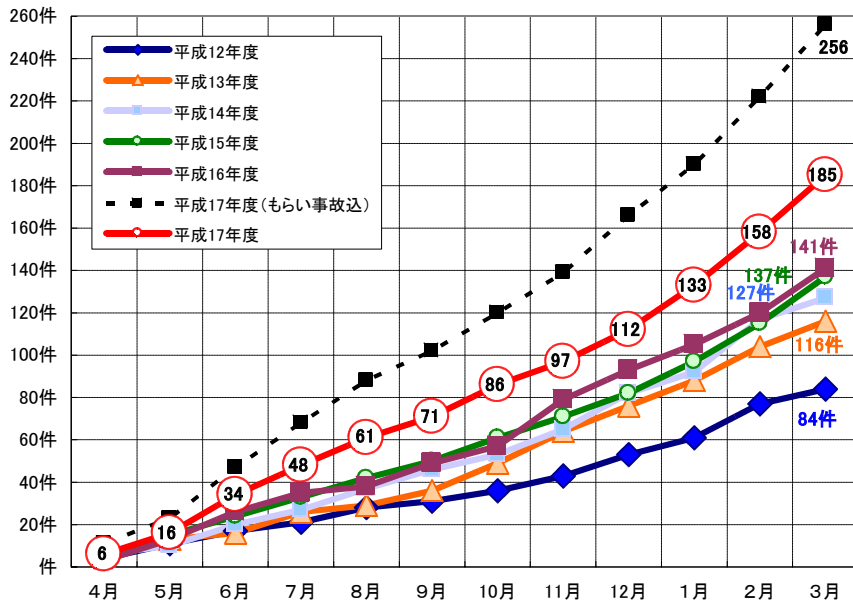


図-1 月別発生事故件数(累計)

- ◆平成17年度における発生事故件数は、図-1の月別発生事故件数(累計)のとおり、185件でした。
- ◆もらい事故を含めると、256件となっています。
- ◆前年度(平成16年度)の年間発生事故件数141件(もらい事故含まない)を大きく上回る結果となりました。
- ◆年末である3月については、27件(もらい事故含むと34件)と事故が多発しています。

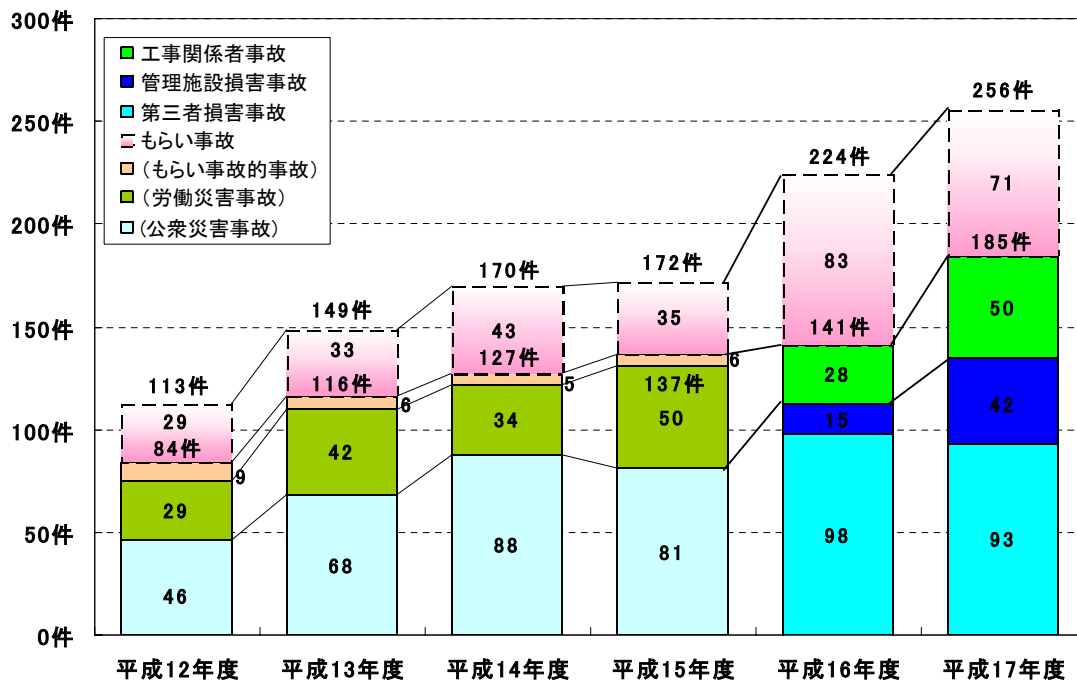


図-2 事故種類別

- ◆事故種類別(図-2)については、工事等が起因し工事関係者が被災した事故(工事関係者事故)、第三者及び管理施設に損害を与えた事故(第三者損害事故)及び(管理施設損害事故)、第三者が起因して工事関係者が損害を受けた事故(もらい事故)に区分されています。
- ◆(第三者損害事故)と(管理施設損害事故)を併せた値が135件となり、全体の約半数を占

- めています。
- ◆(工事関係者事故)については、50件となっており、前年度(平成16年度)の28件から大幅に上回っています。
- ◆(もらい事故)は71件発生し、全体の約3割を占めていますが、前年度(平成16年度)の83件から減少しています。

※以下の図(図-3, -4, -5, -6)は、第三者が起因して工事関係者が被害を受けた“もらい事故”による事故件数及び被災者数は含んでいません。

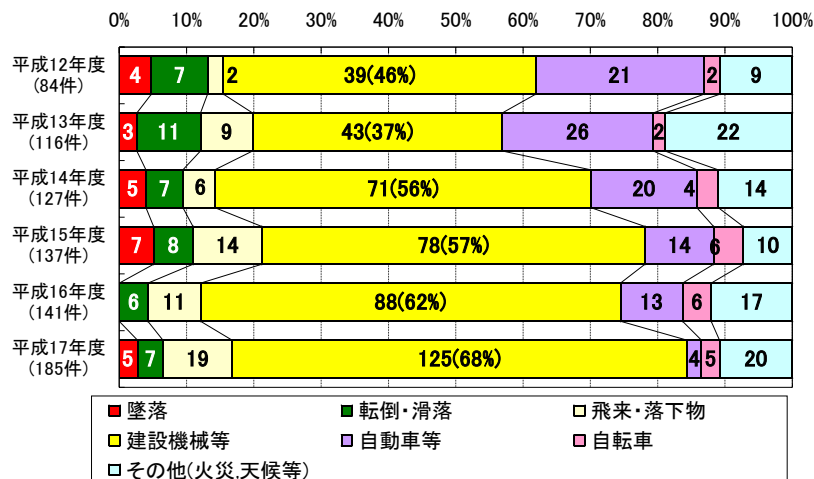


図-3 事故分類別

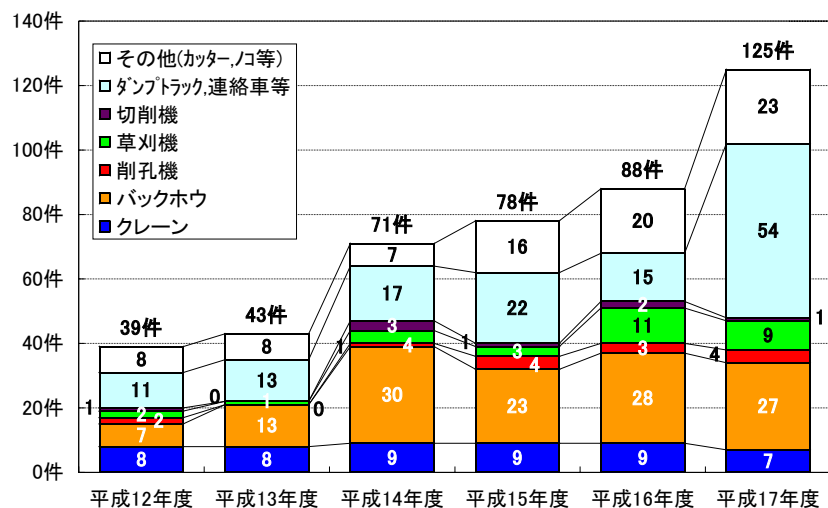


図-4 建設機械分類別

◆平成17年度に発生した事故(185件)により、61人が被災しています。その内、負傷者は57人、死亡者は4人となっています。(図-5、6参照)

◆死亡者については、前年度(平成16年度)までと比較すると、大幅に上回りました。

◆平成17年度は、死亡事故が多かった為、請負業者としては、下記の防止対策(案)を参考に、今年度は注意・指導して下さい。

[防止対策(案)]

- ◆指示事項を遵守させること。
- ◆責任者監視の元で作業を行うこと。
- ◆安全パトロールや安全点検を徹底すること。
- ◆危険・予知訓練等を徹底すること。
- ◆作業員同士で、注意喚起を促すこと

◆事故分類別(図-3)では、バックホウやクレーンなど、“建設機械等”が関係した事故の件数が毎年のように増加しており、平成17年度については125件の事故が発生し、割合としては全体の約7割を占める結果となりました。

◆平成17年度の特徴としては、ダンプトラック,連絡車等(官用車の事故含む)による事故が例年に比べると多く発生したことで、前年度(平成16年度)は15件でしたが、平成17年度においては約4倍近くの54件の事故が発生しました。

◆主な要因として、当事者の不注意が考えられますので、請負業者としては、下記の防止対策(案)を参考に、今年度は注意・指導して下さい。

[防止対策(案)]

- ◆“だうろ”運転、漫然や脇見運転等を防止する為に、現道上の安全運転を遵守させること。
- ◆日頃の健康管理を徹底すること。
- ◆映像による危険・予知訓練等を徹底すること。

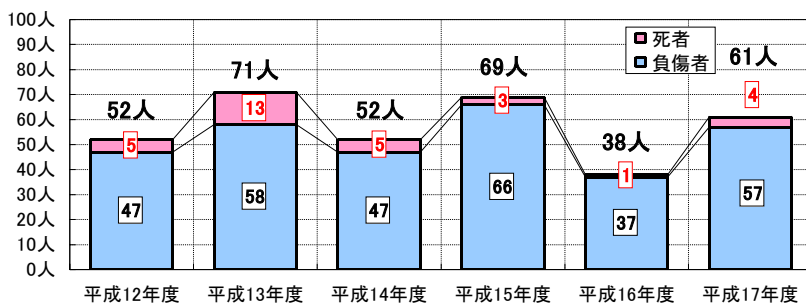


図-5 被災者数経年変化

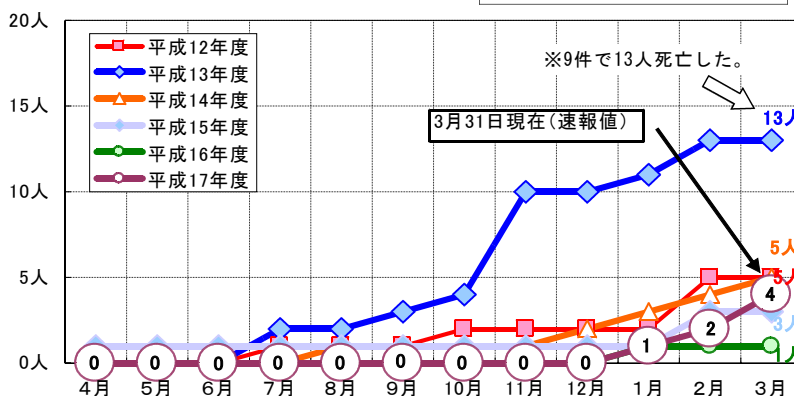


図-6 月別死亡者数(累計)

今年度は、運転事故及び死亡事故を無くそう!!